

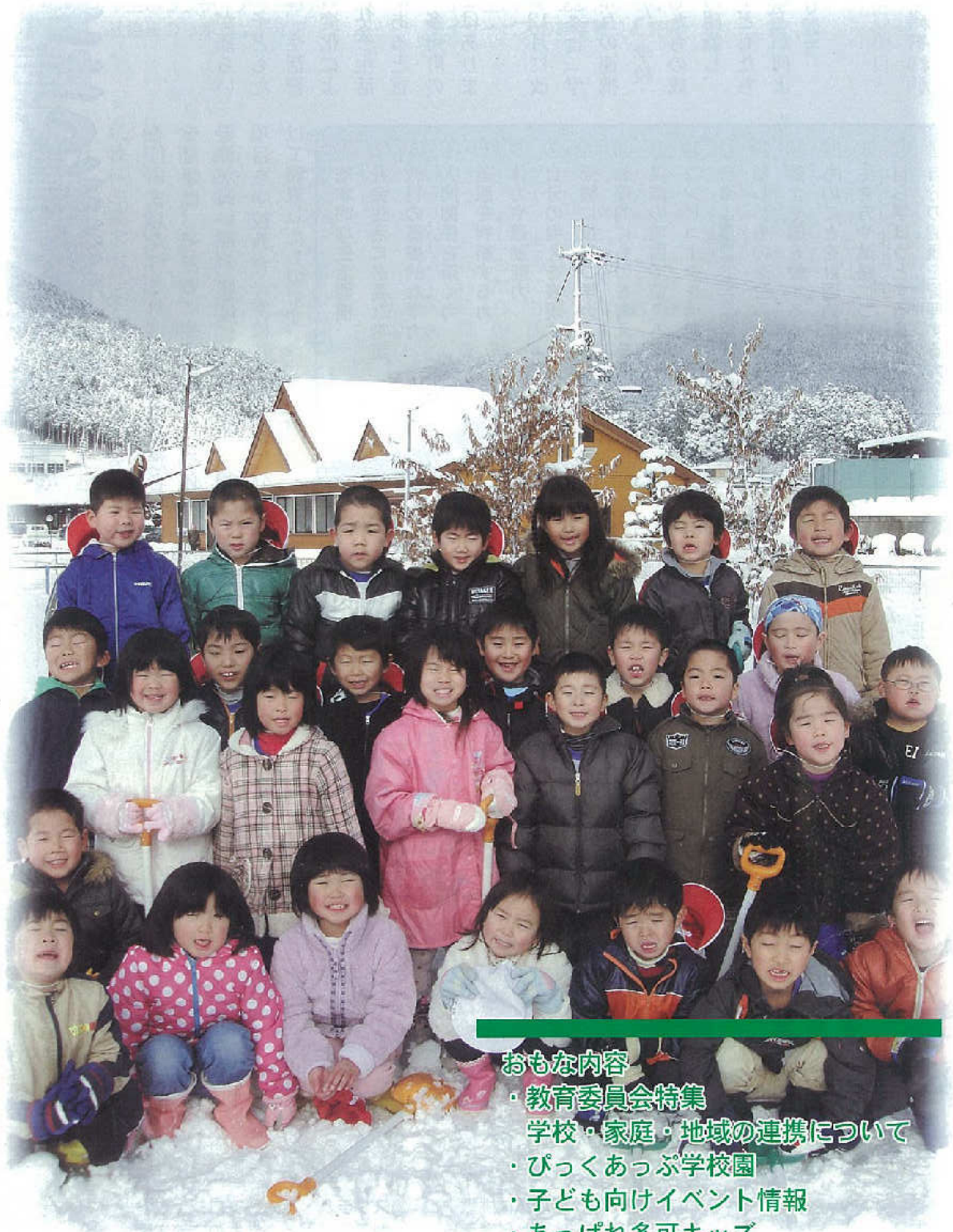
多可

子ども

タイムズ

2011.2.1  
平成23年 18号

発行：多可町教育委員会  
〒679-1134 多可町多可町中区茂利20  
TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142  
E-mail: kodcmo@takacho.jp



おもな内容

- ・教育委員会特集  
学校・家庭・地域の連携について
- ・びっくあっぷ学校園
- ・子ども向けイベント情報
- ・あっぱれ多可キッズ
- ・知っ得TakaTown

それぞれが担うべき役割を理解し

# 学校・家庭・地域の連携協力を

## ◎はつめい

今、子どもたちの「育ち」が揺らいでいると心配されています。子どもたちの学習意欲や体力の低下は、生活習慣の乱れ、ゲーム等の遊びの変化による人間関係の希薄化、自然や社会・生活の中での体験不足など原因があると言われています。このことは、多可町の子どもたちについても例外ではありません。

このような中で、平成18年12月に改正された教育基本法では、第13条に「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が新たに規定されました。学校・家庭・地域それぞれが、子どもたちの成長のために担うべき役割を再認識し、共につながり手を携えて、子どもたちの健全な成長を支えていくことが何よりも大切になっています。

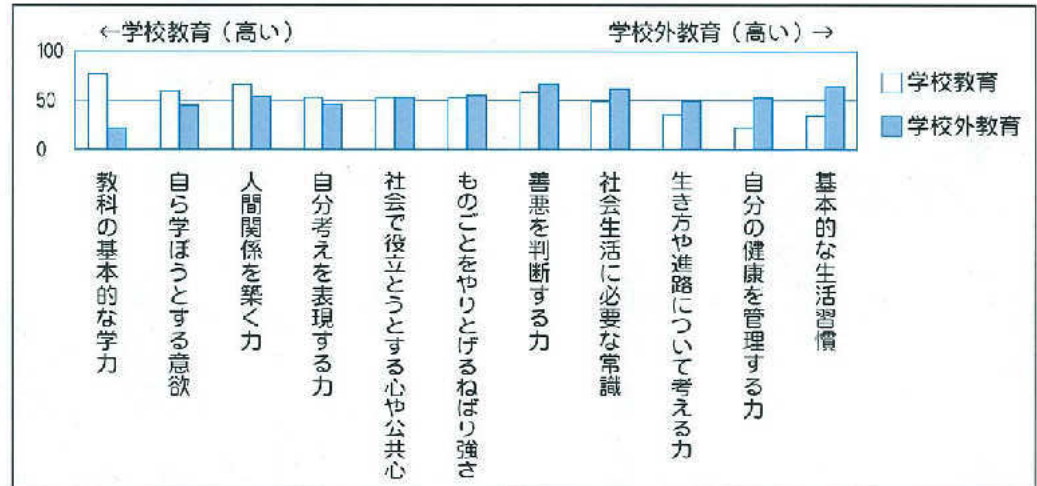
## ◎担うべき役割

それでは、学校・家庭・地域それぞれが担うべき役割にはどのようなものがあるのでしょうか。2005年に文部科学省が「義務教育に関する意識調査」

を行いました。これは、小学生保護者を対象に、子どもに身に付けさせるべき項目を学校教育と学校外での教育に分けて調査したものです。

- ① 基本的な生活習慣
- ② 社会生活に必要な常識
- ③ 教科の基礎的な学力
- ④ 人間関係を築く力
- ⑤ 善悪を判断する力
- ⑥ 体力や運動能力
- ⑦ 自分の考えを表現する力
- ⑧ 受験に役立つ学力
- ⑨ 論理的にものを考える力
- ⑩ 実際の場面では使える英語力
- ⑪ コミュニタを活用する力
- ⑫ 音楽・美術など芸術面の能力や情操
- ⑬ 新しいものを生み出す創造的な力
- ⑭ 郷土や国を愛する心
- ⑮ ものこを計画的に行う力
- ⑯ 生き方や進路について考える力
- ⑰ 自ら学ぼうとする意欲
- ⑱ 自分の健康を管理する力
- ⑳ ものこをやりとげるねばり強さ
- ㉑ 社会で役立とうとする心や公共心

この調査の中で、身に付けさせる必要性がとて高いと回答されたものをグラフにすると次のようになります。



## ◎自分の考えを表現する力

などがあげられます。これに加えて、中学生保護者対象のデータでは、

## ◎受験に必要な学力

も強く求められています。



プレママ・プレパパに挑戦  
将来の子育てを体験から考える



スクラム・ハートプロジェクト  
地元消防団と中学生の交流学習

いっぽう、家庭や地域に強く求められる主な役割には、

- ◎ 善悪を判断する力
  - ◎ 基本的な生活習慣
  - ◎ 社会生活に必要な常識
  - ◎ 自分の健康を管理する力
  - ◎ 生き方や進路について考える力
- が求められているのも見逃せません。

このように、学校・家庭・地域では、それぞれ担うべき役割があると考えられています。また、学校教育と学校外の教育の両者で、ともに身に付けさせたい項目としては、

- ◎ ものこをやりとげるねばり強さ
  - ◎ 社会で役立とうとする心や公共心
- などがあげられています。



小学生ハートフルスクール  
デイサービスのお年寄りと交流



中学生ボランティアサークル  
社協まつりボランティア

これらは、あくまでも傾向として認識すべきものですが、今後、学校・家庭・地域のよりよい連携協力を進めていく

ためのキーワードになるものと考えています。

以前から、学校は単に教科学力を身に付けるための場所ではなく、集団生活の中で人間関係、公共心、規範意識を身に付けたり、ルールを学ぶことも求められてきました。いっぽう教科学力は、地域や家庭での生活も含めた「ものこをやりとげるねばり強さ」を持っていないと獲得できません。「知識を得た喜び」が体験できれば、望ましい学習姿勢が生まれ、「自ら学ぼうとする力」や「自分の考えを表現する力」が連動して身に付いていくとも言われています。連携にも様々な形が存在しますが、子どもたちの健やかな成長のためには「お互いの得意分野」を分担しながら、大人がより多くの目で見守り、応援していくことが望まれます。

## ◎大人と子どももつながる

前述の「義務教育に関する意識調査」では、大人が学校で教えたいことの上位には、学校に求められる役割と同様に、「教科の基本的な学力」「人間関係を築く力」「自分の考えを表現する力」などがあがっています。しかし、子どもが学校で学びたいことには、「周りの人と仲良く付き合う力」「自分の考えを言葉で伝える力」困ったときにどうしたら

よいか考える力」もあがっています。このことから、大人と子どもの意識の間には、多少違う部分が生じていることがわかります。

ライオンズクラブ国際財団などの支援のもとで、特定非営利法人 青少年育成支援フォーラム（J I Y D）が普及活動を行っているライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」では、子どもの「学びたい」と、大人の「教えたい」をつなぐための様々なプログラムを展開しています。これは、学校での授業を中心に、学校・家庭・地域がその学びのステージとなつて、子どもたちに日々の困難を乗り越えて生きていく術（ライフスキル）を身に付けさせるための取り組みです。

平成19年度を契機に、多可町教育委員会とライオンズクラブが共催し、町内教職員を対象とした「思春期のライフスキル教育」の研修を開催しました。



夏季教職員研修  
思春期のライフスキルプログラム

## ◎おわりに

本研修会は、平成22年度も同様に共催で実施し、平成23年度には加美ライオンズクラブと共催での実施を予定するなど、積極的に取り組んでいます。この取り組みは、教育へ地域住民が関わること、まさに具現化したものであり、今後もさらに推進が求められています。

教育とは「共育」であり「協育」でもあると言われています。特に、小中学校に対しては、多可町民の皆さんも「おらが学校」の意識を持つことが大切です。また、学校と関わる際には「お客さん」の発想から脱却することも大切です。地域住民一人ひとりの地元の学校に対する「当事者意識」が高まれば、地域に密着した学校として活性化し、教育の効果も高まっていきます。これはまた、地域が育つこと「地域づくり」にもつながります。「地域が成長すれば教育は良くなる」この相乗効果は大きく、子どもの学習意欲を高めるとともに、生きる力の醸成につながっていきます。そのためには、学校・家庭・地域がお互いの担うべき役割を理解するとともに、子どもたちの思いや願いにも耳を傾けることも大切です。そしてそれぞれが車の両輪のように連動し合いながら促進されていくものだと思います。

# びっくあっぷ学校園



## 杉原谷幼稚園

### ふれあい交流活動

杉原谷幼稚園は併設園ということもあり、小学生との交流があります。4年生とサツマイモの苗植えや芋ほりをしました。1・2年生と七夕の製作や、七夕集会をしました。小学校ってどんなところなんだろう?と思っていた園児は、交流を通して「お兄さん・お姉さん」への憧れの気持ちが大きく膨らみました。運動会、杉っ子フニスティバルなど一緒に行事を行うことで、様子がわかり、気軽に声をかけてもらうようになりました。交流が安心感を与え、小学校への期待がより膨らんでいくのが、子ども達の笑顔や会話から感じられるようになりました。秋には子育てふれあいセンターとの交流を行いました。就園前の乳幼児の子ども達に対して、優しく声をかけて接している姿は、小学生にしてもらっていた時と同じでした。



12月には近くにある加美総合福祉センターへ、おしいちゃんおばあちゃんとの交流会に行きました。初めのうちはお互いに緊張した雰囲気でしたが、歌や桃太郎の劇を披露すると表情が和み、温かい拍手もいただきました。また、一緒に手遊びをしました。表情がより和み、お部屋は笑顔でいっぱいになりました。おしいちゃん達の手は、どうだった?とたずねると「シワシワやった」「でも、顔の方がもつとシワシワやった」「喜んでやった」「また行きたい」と子ども達は充実した時間を過ごすことができました。人は出会いはから学んでいくので、これからも交流活動を大切にしていきたいです。



## キッズブランド

### 老人クラブ、保育ボランティアと交流会

12月15日、仕出原の老人クラブの方と、保護者の保育ボランティアの方にお世話になりました。植栽では、仕出原の老人クラブのおしいちゃんやおばあちゃんに植え方を教えてもらいながら、ミカン・カキの木やチューリップの球根を植えました。5歳児の男児が、「力仕事は僕たちに任せて」と頑張っていました。



染物では、丸い模様が出来るように、難しいところは手伝ってもらいながら、白いハンカチに、ビー玉をゴムで結びつけました。そのハンカチを、園で種から育てたマリーゴールドの花びらで染めました。毛糸でマフラーを編むのは、通称『あみあみ』(簡単に編み機を使って太いマフラーを編んだり、手編みに挑戦して細いマフラーを編んだりしていました。途中で毛糸の色を変えて、世界にひとつしかないマフラーを作りました。



老人クラブの方には、サツマイモの苗植えや芋ほり、収穫祭の手伝いなど、いろいろな場面で力を貸していただいています。今後も、地域の方との交流を深め、昔ながらの遊びや知恵を教えてくださいたいと思います。

### 地域のパワーを学校に!

中町南小学校は日頃から、見守り隊や図書ボランティア、行事支援ボランティア等保護者や地域にお住まいの方々に大変お世話になってます。また総合学習をはじめとして様々な教科、学年の授業にもご協力いただいています。今回は、地域の方や卒業生が講師を務めてくださった授業の一部をご紹介します。

#### 七輪先生

10月8日

4年生が社会科で七輪を使い昔の生活を体験しました。6人の方が「七輪先生」として来てくださり、炭の入れ方や火の熾し方を教えてくださいました。一週間後のオープンスクールでは、おうちの方と一緒に、七輪で焼いたサンマに塩を打ち、昔の生活に思いをはせました。



#### 手話先生

10月14日

4年生の福祉体験学習に本校卒業生の藤本さんが手話教室の講師として来てくださいました。

#### 命の授業

11月9日

2年生の保護者の方がかわいい赤ちゃんと一緒に生活科の授業でお話ししてくださいました。普段赤ちゃんに接したことのない子ども達は身を乗り出してお話を聞いていました。



#### ようこそ先輩

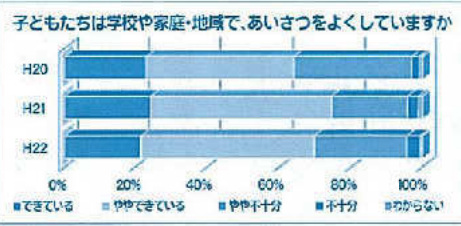
1月13日

滋賀県の教育界で活躍されている、本校卒業生の森川さんが、6年生の児童に道徳と国語の授業をしてくださいました。「勇氣と希望を持ちくじけないで努力しよう」という先生の教えは、子ども達の心に深く刻まれたことでしょう。



## 中町南小学校

## 杉原谷小学校

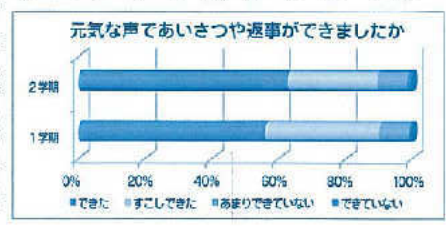


「おはようございます」4月から今日まで、毎朝、子ども達の誰かが赤い帽子をかぶって玄関に立ち、登校してきた子どもたちに朝のあいさつを送っています。暑い日も寒い日も晴れの日も雨の日も...一口も欠かさずです。杉小の子どもたちや先生たちにとっては「あたりまえ」の光景なのですが、よく考えてみると、子どもたちは、簡単なことのように、簡単にはできないことをやっています。これも「凡事徹底」の一例だと思います。

### 地域の皆さんとともに! あいさつ運動 ~毎朝の「おはようございます!」~

子どもたちの「あいさつ」については、保護者アンケートの結果を見ても、「できていない」や「やってくるが増えている」に対して、「不十分」という答えも増えているというように、必ずしも見方が一致しません。杉小の子どもたちは、とてもよくあいさつをしてくれますね!と言ってくださる方や、子どものあいさつは、しないか声が小さかったり、こちら

がしてからでないといけないので、もっとあいさつをしてほしいです」と言われる方など、感じ方もそれぞれです。また、子どもの生活アンケートでは、9割近い子どもたちが「できた」「少しできた」と答えており、大人と子どもの間でも感じ方が違うようです。このことから、あいさつは、多分に人の「こころ」に関わっていると云えます。いずれにしても、あいさつする人の周りには、自然に人と響き合いやすい雰囲気や生まれ、空気がやわらかく変わっていくものです。あいさつは、人間関係の潤滑油のようなものです。朝のあいさつ運動を通して、そのことを感じとってくださる子どもたち一人一人も増えれば、とてもうれしいことです。杉小の「あいさつ運動」はこれから続きます。



雨の日も

# ぴっくあっぷ学校園



加美中学校



**心の交流 “福祉ボランティア活動”**

加美中学校では、福祉ボランティア活動として、毎年、年末に区内の福祉施設に出かけ、清掃や交流を行っています。

今年、「かみ総合福祉センター」「春蘭荘」「みどりの家」「ヘルシーピラ」の4施設を、約100名の生徒が訪れ、施設の清掃や、プランターの花植え、交流などを行いました。

年の瀬が迫る寒い日でしたが、加美中学生の温かい心を届けることができました。

施設の周りの草引きをしました。指先が痛くなるほど寒い日でしたが、終わってから、施設の方のお礼の言葉を聞くと、すごく嬉しい気分になりました。来年も参加したいです。  
(生徒感想)



ヘルシーピラで人所されている方々と、一緒に歌を歌ったりして交流しました。最初はどんな交流になるのか不安がありました。みなさんの笑顔を見ると、そんな不安もなくなりました。体の不自由な老人の方もおられました。接しているうちに、相手の方の気持ちになって接するようになったように思います。  
(生徒感想)

八千代西小学校

## 学校支援ボランティアの方々と共に!



本校では毎年、3年生を中心として米作り体験をしています。田植えや稲刈りの際には、大和地域に住んでおられる学校支援ボランティアの方々に来ていただき、昔ながらの手作業での田植えや稲刈りを教えていただいています。苗の植え方や鎌の使い方、稲の束ね方など、初めはなかなか上手にできませんが、それぞれ丁寧に教えてくださるので、子ども達も時間が経つにつれ自信を持って作業をするようになります。

そして、脱穀や籾すりの際にもボランティアの方に機械を貸していただき、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。子ども達のためなら、「と、生懸命にご協力してくださいませ。」

## ふれあい食事会



また、11月の「ふれあい食事会」では、今年収穫した新米を使って、保護者の方が子ども達のためにおにぎりを作ってくださいました。「自分達で作ったお米のおにぎりだ」と、おいしそうに食べている子ども達の様子を見ていると、我々教師もうれしくなります。

本校の児童は、地域の方々、保護者の方々に支えられ、すくすくと育っています。

## 初すり



中町中学校

## スクラムハートプロジェクト



今年で4回目になります。この事業では、次のようなねらいで地域防災学習活動として取り組みました。

- 中学生が消防団活動を体験させてもらいながら、異年齢集団の交流を通じて地域内の顔見知りを増やし、さすなを深める。
- 中学生が消防団活動を体験させてもらいながら、異年齢集団の交流を通じて地域内の顔見知りを増やし、さすなを深める。
- 昼間に災害が起こった場合、中学生にも可能な範囲でいろいろな活動ができるようになる。

昨年の11月7日、8時20分に各地区に集合し、点呼の後さまざまな活動を行いました。地区の広域消防訓練を実際に見せていただいたり、消火器を使った消火訓練、ホースを伸ばして放水訓練など、実践しながらの消火活動を学びました。その後、地区内を巡回して消火栓の位置やボックスの位置を確認しました。最後には感想やお礼を述べて終会となりました。



○自分の家の近くにある消火栓が知れて良かったです。スクラムハートで勉強したことを災害時に生かせるようにしたいです。

○消火器には、油用・普通の火用、両方があること、消火栓の場所は、マンホールの矢印の先にあることなど、消防団の方がとても優しくいろいろなことを教えて下さったので、楽しく教わることができました。

○消防団の方々がどんな手順で消火活動を行っているのかがよく分かり、有意義でした。放水などを体験して、地区のために働くことの大切さを学びました。チームワークが大切なんだと感じました。

多可高等学校

## 兵庫県立多可高等学校

多可郡多可町中區東山553 TEL: 0795-32-3214

多可高校は、「福祉のこころ」を育み、自らを磨き、地域社会に貢献することを通じて自己実現を図ろうとする生徒を育てます。



妙見祭 ウォークボーイズ (8/12)



☆写真で紹介! 多可高トピックス☆



練り餅かせボランティア (6/25) 八千代南小学校



車椅子バスケット大会 (9/19) アスリル



生き方講演会 (9/24) 柳本晶一 全日本Jリーグ女子前監督



体育大会 (10/7) 中町幼稚園と一組に玉入れ



修学旅行 (11/2~11/6) シンカホール・マレーシア



東山古墳まつり (11/14) 多可のあまみじやこ記念撮影



ふれあい育児体験 (11/18) 中町幼稚園



タイ生徒交流 (11/12~11/21) さよならパーティ 妙見富士CC



表現活動交流会 (12/15) 中町北小学校

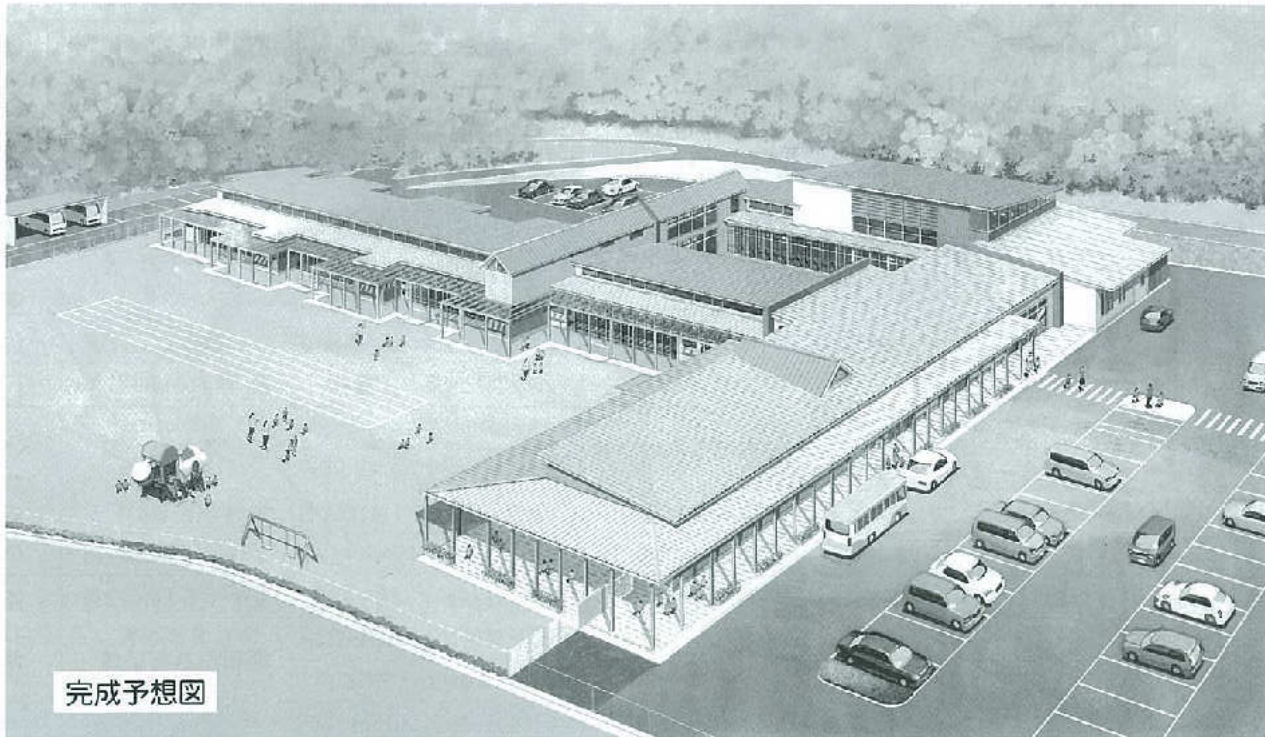


# ぴっくあっぷ学校園



キッズランドかみ

## 平成 23 年度開園 幼保一体化施設キッズランドかみ



完成予想図



安全祈願祭  
H22.9.1



現場見学会  
H22.12.12



こども未来課 TEL:32-2385

加美区の幼稚園・保育所は、施設老朽化で建てかえが必要となっていました。就学前教育、保育を一貫して行うため、幼稚園・保育所を一体化した施設、キッズランドかみとして新しく誕生することになりました。  
場所は加美区的場、南グラウンドとして活用していたところです。  
いよいよ開園まであとわずかとなりました。4月7日(木)の開園・入園式に向けて準備を進めています。

きた保育所

当園は、昭和59年6月にここ加美区の北部、市原の地に開園しました。自然豊かで、ゆつたりとした環境の上に、地域柄というか、地域の人々はとつても温厚で、何かにつけ協力的で、これまで多くの人々の支えていただきました。

当園もこの3月末で27年の幕を下ろすことになりました。

これまで、1056名の子も達がこの地でいろんなことを経験しながら、数々の思い出をつくってきたと思います。

今、在籍している子ども達も、昔と変わらず、多くの人々に支えられながら楽しく園生活を送っています。4月からは幼保一体化施設でさらに多くのお友だちと園生活を送ります。



大好きなおじいちゃん、おばあちゃん、子ども達の良き応援団です。(祖父母参観日)



平成7年頃の運動会の様子



昭和61年頃の祖父母参観日の様子



サンタクロースとして協力して下さった、老人会員さん(クリスマス会)

地域の人々にとつては、若干、園は遠くなりますが、心の距離はいつでも身近であるかと思えます。またそうあつてほしいと思えます。これからも、よろしく願います。

みなみ保育所



寒い中、体も暖めながら餅米を蒸しています



創立当時のお餅つき



「つぎたてはおいしいでしょ」

「はーい！  
おいしいよー」



♪さよなら  
あんころもち、またきなこ〜♪  
どっちもおいしそうだね

みなみ保育所が、創立した昭和57年より29年間、ずっと続いている地域との交流は青年団の方々のお餅つきです。  
近年、餅米を釜で蒸し、杵と臼を使ってのお餅つきというは大変珍しくなってきました。また青年団という団体も少なくなってきた中、段々に廃れていく文化をこれまた廃れてしまいたいような青年さん達が四方を守りながら、伝えて下さっています。  
子ども達はこのお餅つきを毎年楽しみにしています。勿論、お兄ちゃん、お姉ちゃんとの触れあいも楽しみの一つです。青年さん達もこの日は童心に戻り、子ども達とのひとときを楽しめます。  
加美区は米年度、幼保一体化施設となりますが、園の行事として今後もずっと続いてほしいと願っています。



みなみ保育所



2月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合・申込先	分 類
2月3日	水	あいあい広場	杉原谷幼稚園	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
5日	土	こうやの巻きちゃん(巻き寿司づくり) 陶芸体験(バレンタイン編②)	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 1/15の参加者	350円	那珂ふれあい館	体験
6日	日	木工体験①(機械を使うよ)午前の部 木工体験①(機械を使うよ)午後の部 新聞紙でエコ植木鉢づくり①	那珂ふれあい館 湖畔の広場	小学4年生以上 小学生以下保護者同伴	100円(材1500円) 500円(2回分)	那珂ふれあい館 なか・やちよの森公園	体験 体験
7日	月	みんなの日	アスパル	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
8日	火	再就職応援セミナー	アスパル	子育て中の母親	無料	生涯学習課	学習
11日	金・祝	デザートづくり講座 播州織の布ぞうりづくり	中央公民館 湖畔の広場	中学生以上 中学生以上	500円 500円	生涯学習課 なか・やちよの森公園	体験 体験
12日	土	陶芸体験(ひな祭編①)~キャンドルカバー~ 陶芸体験(ひな祭編②)~キャンドルカバー~ ちぎり絵教室~ひな祭りのちぎり絵~ たき火の日~ルームプレートづくり~ たき火の日~棒焼きパンづくり~	那珂ふれあい館 湖畔の広場	幼稚園児以上 小学生以下保護者同伴	350円(3回分) 100円(材1500円) 300円 200円要予約	那珂ふれあい館 なか・やちよの森公園	体験 体験 体験
13日	日	お菓子の家づくり 森の工作 東山古墳群めぐり 陶芸体験(ひな祭編①)~素焼きのおひな様~ 多可町卓球大会 連射!輪ゴムてっぽうづくり	加美コミュニティプラザ 那珂ふれあい館 アスパル 湖畔の広場	どなたでも 幼稚園児以上 どなたでも 親子ペア	200円 350円 無料 350円(2回分) 200円 200円	中・みなみ児童館 那珂ふれあい館 生涯学習課 なか・やちよの森公園	体験 体験 学習 体験 スポーツ 体験
14日	月	再就職応援セミナー	アスパル	子育て中の母親	無料	生涯学習課	学習
17日	木	学習会~楽しく学ぶ 子ども同士のトラブル対応術~	加美コミュニティプラザ	保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
19日	土	青少年健全育成大会 かんたん楽しい!手芸教室~冬のキューピーさん~ 藤工藝教室~ミニポスト~ おもしろ算数・数学講座 新・森の遊び場づくり⑩	ベルディーホール 那珂ふれあい館 中央公民館 湖畔の広場	どなたでも 小学生以下保護者同伴 幼稚園児以上・大人も可 小学5年生以上 小学生以上	無料 100円(材)650円 100円(材)850円 無料 無料	こども未来課 那珂ふれあい館 生涯学習課 なか・やちよの森公園	イベント 体験 体験 学習 体験
20日	日	土日交流会~昔あそびでGOROびかドン★~ 西脇多可新人高校駅伝 ヒラタケづくり	グリーンプラザ 西脇市~中区 湖畔の広場	未就学児と家族 どなたでも 小学生以下保護者同伴	(材)150円(材)100円 無料 500円	多可町子育てふれあいセンター 生涯学習課 なか・やちよの森公園	子育て スポーツ 体験
23日	水	再就職応援セミナー	アスパル	子育て中の母親	無料	生涯学習課	学習
24日	木	婦人会さんとの交流会	アスパル	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
26日	土	子ども芸能発表会 おいしいひな祭り!~よもぎの焼きもち~ ハーブでバスタイム♪ 七宝焼き教室 新聞紙でエコ植木鉢づくり②	加美コミュニティプラザ 那珂ふれあい館 湖畔の広場	どなたでも 幼稚園児以上 2/6の参加者	無料 300円 100円(材)500円 100円(材)別途	こども未来課 那珂ふれあい館 なか・やちよの森公園	イベント 体験 体験 体験
27日	日	陶芸体験(ひな祭編②)~素焼きのおひな様~ 陶芸体験(ひな祭編③)~キャンドルカバー~ イースター・フェスティバル~タマゴ探しゲーム~	那珂ふれあい館	2/13の参加者 2/12の参加者 小学生	300円 100円(材)500円 200円	那珂ふれあい館 生涯学習課	体験 体験 イベント

3月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合・申込先	分 類
3月5日	土	学習会~子育てのコツを学ぼう~ 木工体験②(色つけ) さざ草の植え付け教室 図書館まつり(~6日)	キッズランドやちよ 那珂ふれあい館 多可町図書館	保護者 2/6の参加者 大人向け どなたでも	無料 700円 無料	多可町子育てふれあいセンター 那珂ふれあい館 多可町図書館	子育て 体験 イベント
6日	日	親子で発掘体験 エコ紙すき体験(アルバム①)	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円 350円(2回分)	那珂ふれあい館	体験
12日	土	勾玉づくり ハーブのブーケづくり 七宝焼き教室 ジャガイモをつくらう!①"故づくり体験"	那珂ふれあい館 湖畔の広場	幼稚園児以上 小学生以下保護者同伴	150円~200円 100円(材)500円 100円(材)別途 無料・弁当持参	那珂ふれあい館 なか・やちよの森公園	体験 体験 体験
13日	日	手づくりおもちゃで遊ぶ 春のフルーツゼリー&ドーナツ! 東山古墳群めぐり 勾玉づくり 森を育てよう⑥"森の手入れとネイチャークラブ"	中央公民館 那珂ふれあい館 湖畔の広場	どなたでも 幼稚園児以上	200円 300円 無料 150円~200円 無料・弁当持参	中・みなみ児童館 那珂ふれあい館 なか・やちよの森公園	体験 体験 学習 体験 体験
17日	木	みんなの日	アスパル	未就学児と家族	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
19日	土	エコ紙すき教室(アルバム②) ちぎり絵教室~春のちぎり絵~ お父さんといっしょにお弁当つくらう! 新・森の遊び場づくり⑩	那珂ふれあい館 中央公民館 湖畔の広場	3/6の参加者 幼稚園児以上 父親と子ども 小学生以上	100円(材)500円~ 1組1000円 無料・弁当持参	那珂ふれあい館 生涯学習課 なか・やちよの森公園	体験 体験 体験 体験
21日	月・祝	ジャガイモをつくらう!②"植え付け体験"	湖畔の広場	小学生以下保護者同伴	200円・弁当持参	なか・やちよの森公園	体験
26日	土	勾玉づくり くみひもぞうりづくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学5年生以上	150円~200円 350円	那珂ふれあい館	体験
27日	日	かんたん楽しい!手芸教室~毛糸のネコちゃん~ カラフル勾玉づくり 森の工作 翠明湖マラソン大会	那珂ふれあい館 翠明湖周辺	小学生以下保護者同伴 幼稚園児以上 幼稚園児以上 どなたでも	100円(材)500円 200円 350円 種目別	那珂ふれあい館 生涯学習課	体験 体験 スポーツ

4月

日付	曜	内 容	会 場	対 象	参加費	お問合・申込先	分 類
4月2日	土	勾玉づくり くみひもぞうりづくり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上 小学5年生以上	150円~200円 350円	那珂ふれあい館	体験
3日	日	森の工作	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	200円	那珂ふれあい館	体験
9日	土	かんたん楽しい!手芸教室~キルト綿のアンちゃん~ カラフル勾玉づくり	那珂ふれあい館	小学生以下保護者同伴 幼稚園児以上	100円(材)500円 200円	那珂ふれあい館	体験
10日	日	勾玉づくり 東山古墳群めぐり	那珂ふれあい館	幼稚園児以上	150円~200円 無料	那珂ふれあい館	体験 学習

**注意**

- 掲載しているイベントについては、日程・内容等が変更になる場合がありますのでご注意ください。
- 実施時間等の詳細には、各施設・イベントごとに配布されるチラシ等をご覧ください。
- お申し込みは、各イベントの申し込み受付開始後に可能となります。

※なか・やちよの森公園のイベントは、実施日の前月1日から受け付けが開始されます。

(お問合・申込み先電話番号) こども未来課 32-2385 多可町子育てふれあいセンター 37-2525 中児童館 32-4328  
みなみ児童館 35-1420 那珂ふれあい館 32-0685 生涯学習課 32-5122  
県立なか・やちよの森公園 30-0050



# あっぱれ多可キッズ!

「あっぱれ多可キッズ!」では、学校園での活動や、地域活動、スポーツ等に頑張っている子どもたちをピックアップして特集します。



いよいよフィナーレ間近ものすごい熱気の舞台の様子

12月19日(日)に、ベルディーホールを会場に「多可のあまんじゃこ2010」が盛大に開催され、多可町誕生50周年、ベルディーホール開館20周年を華々しく飾りました。とんとん地元、手づくりのこだわったこの舞台、演劇はもちろんのこと脚本から音楽、舞台装置や衣装にいたるまで、多くの地域住民の皆さんが参画し、みんなで創り上げた舞台でした。この公演に演劇セミナー生として参加した5名の中学生に、舞台での心境や演じることの魅力などをインタビューしました。

この時に出了のがきつかけ。今回は大がかりな舞台で、お客さんも満員で、ドキドキして台詞が飛んでいった。表情も緊張で真顔になってしまった。終わったら達成感でいっぱいだった。(綾也くん)

6年生の時にセミナーに入ったのがきつかけ。あまんじゃこは初めてだったけど、稽古でみんなから教えてもらったりして仲良くなれた。本番後いろんな人から「良かったよ」と言をかけられてうれしかった。(美典さん)

4年生の時にオペレッタのあまんじゃこに出て、楽しかったので始めた。本番はもちろんだけど、稽古の時から周りの役者や楽団の人たち、あまのじゃこなど他団体の人にも楽しめてきて良かった。(実加さん)

オペレッタのあまんじゃこに出たのと、兄が参加していたのがきつかけ。やりたいと思って集まった人ばかりで、稽古からすごい集中しててすごかった。みんなであつていることが実感できて良かった。(めいさん)

また出たいですかと問うには全員が「はい」と答えていました。さらに全員が「多可町がもっと好きになった」と答えてくれたことがとてもうれしく、印象に残りました。



山尾智也くん(加美23年)  
平尾瑛希くん(加美中3年)  
安平美央さん(中町中2年)  
安平実加さん(中町中2年)  
丸岡めいさん(中町中2年)

# 知っ得TakaTown

## 日本一の手漉き和紙!

「知っ得TakaTown」では、多可町の子どもたちに対しての、地域の耳寄り情報や、おもしろスポットを紹介していきます。



紙漉きの様子

今回は、加美区鳥羽の杉原紙研究所を紹介いたします。

杉原紙は、1300年の歴史と伝統を持つ和紙で、県の重要無形文化財にも指定されています。最近では、平成18年の「のじぎく兵庫国体」で表彰状として使われたり、宮内庁の「宮中歌会始」にも毎年使われています。杉原紙研究所では、杉原紙を使った様々な製品を生産・販売しています(施設の見学は自由)。ここで働いておられる藤田尚志さんからのメッセージです。

「紙の? (はてな)」杉原紙研究所で確認しよう!

皆さん、今いちど自分の生活の周りをよく見てください。いろいろなところでバラエティ豊かな紙が、たくさん使われていますね。では、それらの紙はどのように作られているのでしょうか。

紙は、生まれてからずっと手作業で時間をかけて作られていました。それが今から約200年前に機械が発明されて以来、いま目になっている紙のほとんどは、実は機械で簡単に作られているのです。しかし紙づくりの基本は、あくまで手すき和紙の製法であって、機械はただ単にそれを真似しているにすぎません。

杉原紙づくりを間近に見れば、紙づくりの原理がよくわかります。そしてその大変さと手作りのおもしろさが実感できます。さあ、紙の?を解明しに、杉原紙研究所までレッツ・ゴー!

杉原紙研究所の近くには「道の駅R427かみや和紙博物館「寿岳文庫」もありです。ドライブがてら訪ねられてはいかがでしょうか。



原料の栲からの黒皮取り



白皮を干しているところ



冷たい水での「川さらし」

## 杉原紙研究所

〒679 1322 多可郡多可町加美区鳥羽768-46  
TEL:0795-36-0080 FAX:0795-36-0080  
ホームページ: <http://www.takacho.jp/sugiharagami>

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会 とも未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail: [kodomo@takacho.jp](mailto:kodomo@takacho.jp)